

# ikekids コミュニケーション

病院理念：患者様に、心あたたかな医療を提供する。

患者様に、質の高い最善の医療を提供する。

患者様の権利と責務

- 1) 平等で質の高い最善の医療を受ける権利
- 2) 患者様の安全が確保されている権利
- 3) 患者様の医療について情報が得られる権利
- 4) 患者様が治療など自らの意思で選択決定する権利
- 5) 患者様のプライバシーおよび尊厳が保たれる権利
- 6) QOL（生活の質）や生活背景に配慮された医療を受ける権利
- 7) セカンドオピニオンを求める権利
- 8) 病院規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務



## 繰り返す発熱をみたとき —自己炎症性疾患とは—

こどもで原因不明の発熱が続くとき、小児科医は(1)感染症、(2)悪性腫瘍、(3)リウマチ性疾患・膠原病、(4)その他(薬剤熱、内分泌疾患など)を考えて検査を行い診断します。ところが途中で自然に熱がさがったり、また逆に治ったと思っても再び発熱してしまい、診断に難渋する場合があります。こういった原因不明の持続する発熱または周期性発熱などがあるとき、自己炎症性疾患という病気の概念が提唱されており、小児科でのトピックになっています。

自己炎症という概念は、1999年 Kastner, O'Shea, McDermott らにより、自然免疫系の遺伝性異常症を念頭に考え出されました。体質的に炎症が起こりやすい疾患で、関節リウマチなどの自己免疫疾患やアレルギー疾患、生まれつきの免疫不全症などの従来の免疫疾患の範疇に納めることができない疾患群に対し、自己炎症性疾患という疾患概念が提唱されました。

私も周期的に発熱し、その際には関節痛、腹痛、検査で強い炎症所見がみられる当時5歳の女の子を経験しています。そのころは自己炎症疾患という概念はない頃で、症状に一番近い「全身型若年性関節リウマチ」と診断しステロイドを中心に治療していましたが、なかなか治療に反応しませんでした。しかし典型的な症状ではないため、変だと思いながら10年近く経過をみていました。小児リウマチの学会で自己炎症性疾患のセッションがあり、そのとき発表されていた「家族性地中海熱」の症例と自分の患者さんの症状が全く同じだったので、もしかしたらと遺伝子検査を京都大学に依頼したところ、この病気特有の遺伝子異常が判明、ようやく正しい診断にたどり着きました。地中海熱とは聞き慣れない病名ですが、稀な疾患で地中海沿岸のユダヤ系民族を中心に、トルコ、アルメニア、アラブの人々に多発する周期性発熱症候群で、発熱時間が6~96時間と比較的短く、漿膜炎の無菌性炎症による腹痛・胸痛・関節痛を伴う事が特徴です。日本ではないとされていた病気でしたが現在およそ500人の患者が確認されています。

数多くの疾患が自己炎症性疾患に分類されてきており、遺伝子異常があると狭義の、それ以外は広義の自己炎症性疾患と呼ばれます。小児領域では前者の代表が家族性地中海熱、若年性サルコイドーシス、後者では全身型若年性特発性関節炎、ベーチェット病、PFAPAが挙げられます。そのなかで実際に一般小児科が経験することが多い、PFAPA(周期性発熱・アフタ性口内炎・咽頭炎・リンパ節炎症候群)について説明します。

この病気は周期性発熱・アフタ性口内炎・咽頭炎・頸部リンパ節炎が主症状で、主に幼児期に発症する、最も頻度の高い非遺伝性の自己炎症性疾患です。病因・病態は殆ど解明されておらず、明らかな遺伝性も認められません。通常3~6日間続く周期性発熱発作が主な症状で、アフタ性口内炎・頸部リンパ節炎、扁桃炎、咽頭炎などを伴います。発作は3~8週間毎に繰り返し、間欠期には全く無症状です。基本的に予後は良好であり、通常4~8年程で治癒し成長・発達障害も認めません。治療で有効性が最も高いのは発作時の副腎皮質ステロイド剤の投与です。しかし発作間隔を短縮し、次の発作が早く発来する、発熱以外の症状が残存する場合は有るなどの問題があります。胃潰瘍に使われるヒスタミンH2受容体拮抗薬であるシメチジンや、

アレルギーに使うロイコトリエン拮抗薬が一部の症例に有効です。内科的治療に抵抗する症例には扁桃摘出術が行われ、高い有効性（寛解率70～80%）が示されています。当院でもPFAPAの患者さんを診療していますが、シメチジンで発作間隔が伸びている子もいれはステロイドを使わざるを得ない子もいる現状です。PFAPAと診断されない場合、慢性扁桃炎と似ているため抗菌薬をそのたびに使われている子も多いと思います。周期的に発熱がみられ、診断がなかなか付いていない場合は自己炎症性疾患のこともあります。医療機関を受診する際、参考にしてみてください。（文責 今中啓之）

## 絵本を楽しみませんか？

お子さんの具合は良くなってきたけれど、まだ外遊びはちょっと…という時、絵本を楽しんでみてはどうでしょうか。長く愛されているシリーズものをご紹介します。

### ★『だるまさんが』 かがくいひろし

だるまさんの動きや様子がかわいく、コミカルに描かれています。読み始めると独特のリズムもあいまって、子どもたちもニコリと笑顔になります。『だるまさんの』、『だるまさんと』と3冊のシリーズです。

### ★『バムとケロのもりのこや』 島田ゆか

ぼかぼかあたたかい木曜日。森の中につるくさにおおわれた古い小屋をみつけたバムとケロ。笑えるストーリーはもちろん、細部まで丁寧に描かれた絵に、小さな発見の競争をしている親子も多いとか。シリーズは全5冊です。

『バムとケロのにちようび』、『バムとケロのそらのたび』、『バムとケロのさむいあさ』、『バムとケロのおかいもの』

### ★『からすのパンやさん』 かこさとし

いずみがもりに、からすのパンやさんがありました。4羽の子どもたちの意見をきいて、おもしろくてすてきなパンをどっさり焼くと、お店が大繁盛します！！1973年の刊行以来、ずっと子どもたちに愛されてきた『からすのパンやさん』に、40年ぶりの続きのお話4作が登場しました。

『からすのおかしやさん』、『からすのやおやさん』  
『からすのてんぷらやさん』、『からすのそばやさん』

※作者のかこさとしさんは、今年5月2日に亡くなりました。



### 育児ふれあいサロンのご案内 《いけ☆キッズ》

《7月》

【内容】 親子クッキング  
【日時】 2018年7月28日（土）  
13:30～16:00  
【場所】 りほんかん りょうりのおへや  
【講師】 富宿 みずえ 管理栄養士  
※対象年齢は、4歳から小学校3年生までです。  
※託児あります。  
※参加料は無料です。  
※予約制となっておりますので、お申し込み、お問い合わせは、  
**チックタック童夢館(☎255-3737)まで**

※予約後キャンセルされる場合は、前日までに必ずご連絡をおねがいします。  
※日時、内容が変更になる場合もございますので、ご了承ください。

9月22日には  
育児ふれあいサロン  
《いけ☆キッズ》150回記念  
を開催予定です。



★社会医療法人 童仁会 池田病院  
住所 西田1丁目4-1 ☎252-8333

#### ★診療時間★

平日診察時間 朝9:00～夜9:00  
日曜日診察時間 朝9:00～昼1:00

※受付時間は、朝8:00から診療終了30分前までです。

#### ★予防接種と乳幼児健診★

月・火・水・木・金曜日です。

〈乳幼児健診〉 10:00  
11:00  
〈予防接種〉 13:00  
14:00  
15:00

※乳幼児健診の時間帯に予防接種も一緒に受けられます！

接種忘れはありませんか？

※予防接種・乳幼児健診・栄養相談は予約制です。

★チックタック童夢館 ☎255-3737  
質問・ご相談等ありましたら、受付または、お電話にてお尋ねください。

★週間担当医・チックタック童夢館の予約状況が左記のQRコードからご覧になれます。



QJ00542/1809001:2008



☆入院、外来のお支払いが自動精算機で出来るようになりました。お支払は現金とクレジットカードの2種類があります。